



接触8割減！ . . . ？

このたびは豊川市、幼稚園協会、及び西明寺幼稚園からの「登園自粛要請」にお応えいただき、ありがとうございました。お勤めやその他の用事でお忙しいところを、いろいろ工夫されていることと、感謝申し上げます。本来ならば、「幼稚園は楽しいことがいっぱいあるよ。みんな、来てね。」と呼びかけるところを、登園自粛要請だなんて、職業倫理に反する行為で、恥ずべきことではないかと、良心の呵責にさいなまれています。

コロナとの戦いはゴールがわからないマラソンのようなものです。ペースを上げすぎてゴール前でへばるわけにはいきません。こんな時にこそ声を掛け合って、焦らず、今ベストだと思われることに、地道に取り組んでいきましょう。

4月23日の朝日新聞の第1面に「接触8割減へ10の要請」という見出しの記事が載っていました。10の要請の中のポイントとなるフレーズに、「ビデオ通話」「オンライン」「通販」「遠隔」「動画活用」「宅配」そして「在宅勤務」等々、それこそ人々との関係を疎遠にし、確かに接触8割減の手段として有効な言葉が入っています。でも、幼稚園という、人間が相手の職場で、しかも人と人との触れ合いこそが求められる私たちの仕事には、とうていあり得ないことばかりです。

3月の自由登園期間には、毎朝、正門で立っているときに、「しばらくのあいだ私たちはできません。ごめんね」というメッセージを首から掛けていました。私とハイタッチをする習慣になっていた子どもたちは、それでも、つい反射的にタッチを求めてきました。今は、このまま6月に入っても、誰もタッチやあいさつをしなくなりはいらないかと心配です。手と手、身体と身体の接触は8割減でも、心と心の触れ合いは無くしたくないと思っています。そして、少しでも早く、元気な子どもたちの声が園庭に満ちる日が来ることを願っています。

保育環境の質の向上を目指して

昨年度10月より、それまで長年据え置いておりました授業料を改定（値上げ）させていただきました。その際に、保育環境の質のますますの向上をお約束しました。その

中には、施設の改善と職員の適正配置が含まれています。施設改善については、毎年予算化し、施設設備の充実や改修、備品や遊具等の新規購入などを行っております。豊川市からも毎年66万円ほどの運営費補助金をいただいております。また、冷暖房費などの保護者負担や、保護者負担による教材等の一部を園の教材費に組み入れるなどして、保護者負担の見直しをしております。

入園式や子どもさんの送迎の折りにお気づきと思いますが、正門から子どもたちの靴箱までの道のりを、水はけのよいアスファルト舗装を致しました。雨の日は足元が悪く、ご不自由をおかけしました。花組の靴箱の前には人工芝も敷きました。駐車場の指導停止線前の待機場所には、車が進入しないようにポールを立てました。

今後も、保育環境の質の向上に努めてまいります。（次の写真参照）

★ 子どもたちの靴箱にいたる通路の舗装

写真のように、浸水性のあるアスファルト舗装をしました。先日の大雨でも水たまりができず、快適でした。花組の靴箱前は、以前は小石が敷かれ、大人には趣向を感じさせましたが、子どもたちは多少歩きにくかったかと思います。



★ 正門前道路の指導停止線位置の待機場所

カーブの頂点に指導停止線を設置していただき、その位置に扇形の、車が入れない待機場所を設けました。これで見通しが良くなりました。

